授業デザイン

教科・科目：家庭・家庭基礎　　令和２年１１月２０日（金）

実施学級：２年７組　　実施場所：教室　　単元名　：食物繊維

１　本時の指導目標	近年、食物繊維の摂取量の低下と生活習慣病の増加との関連性が注目されるようになり、その有用性が見直されている。この第６の栄養素といわれる食物繊維のはたらきについて理解させ、自らの食生活を振り返り食生活の改善につなげる。
２　本時の手立て	食物繊維を多く含む食品を使用した献立を考える場面を設定する。
３「深い学び」に導くための問い	問い「食物繊維はどんな食品に多く含まれている？」 各自で作成した一汁三菜の献立をみて、食物繊維の摂取状況を確認する。 不足しているようであれば改善点を考える。
	問いのレベル **■Ｉレベル　Ideas　知識、技能の習得** （基本的な事項、基礎的な事実関係、定義、基本的な概念等を確認するような問い） **■Ｃレベル　Connections　既知の知識・概念や他領域とのつながり** （教科の既習内容、他教科の内容、実生活の内容などと、学んだことの関係やつながりを理解させる、あるいはそれらとつなげて説明させるような問い） **□Ｅレベル　Extensions　応用、活用** （学んだことを全く新しい状況に応用させるような問い。答えが一つに定まらない問い。リアリティがあり、他者性を前提とした問い）
	評価者 ■授業者（教師）■学習者（生徒・自己評価）□学習者（生徒・相互評価） □参観者

４　学習の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価方法
導入	本時の学習目標を確認する。 1 食物繊維を多く含む食品、種類や特徴について理解する。 2 食物繊維の化学構造を知る。	本時の前半では食物繊維を多く含む食品や種類・特徴について、後半では食物繊維の化学構造について学習する。科学的な視点を取り入れることで学習への関心を高めたい。	
展開	1 食物繊維がどんな食品に多く含まれているのか考え食品成分表で確認する。 2 食物繊維の種類とその働きを知る。 3 食物繊維の食事摂取基準を確認し、自分の食生活を振り返る。 4 食物繊維の化学構造を理解する。	食物繊維を多く含む食品を考え、生活Naviの食品成分表で確認させる。 食物繊維を上手に取るための工夫を考えさせる。 各自が作成した一汁三菜の献立をみて、食物繊維の摂取状況を確認させ、不足しているようであれば改善点を考えさせる。	ルーブリック
まとめ	学習のまとめと振り返りをする。		